



行政及び議会の決断力・ 実行力が問われている



自由民主党議員団
塚本 二作 議員

12月13日 一問一答方式により質問

- 1 有明圏域（4市2町）定住自立圏形成の加速化について（1）人材の育成・交流の現状と課題（2）共生ビジョン推進体制の現状と課題
- 2 将来を託せるたくましい子供の育成（あめとむち）について（1）全国学力・学習状況調査結果公表の意志の有無とその課題（2）子ども見守り隊活動の現状と支援策の状況
- 3 市長の政治姿勢について（1）市政与党の概念と予算編成上の対議会関係（2）市民満足度調査の実施
- 4 新年度予算編成と財政構造の強化について（1）予算編成方針と編成の進捗状況（2）正確な歳入見積りと適切な予算配分（3）アベノミクスによる本市財政への影響

有明圏域（4市2町）定住自立圏形成の加速化について

人材の育成・交流の 現状と課題

問 既に共生ビジョンも出来たが、これはスタートラインであり具現実行することが本番。上記の現状と課題について聞きたい。

答 まずは管理監督職員のマネジメント能力の向上と圏域を構成する市町での職員間のネットワークの構築が必要。新任課長等を対象とするマネジメント研修、主査や係長を対象とするコーチング研修を合同で実施した。

人材の交流については、26年度からの実施に向け関係自治体と具体的な協議を進めている。



合同でのコーチング研修
(画像は24年度実施のもの)

将来を託せるたくましい子供の 育成（あめとむち）について

全国学力・学習状況調査結果 公表の意志の有無とその課題

問 努力した子供には評価を与え、努力が足りなかった子供には叱咤激励を与えるのも大人の責務と考えるが、上記の調査結果公表の意志の有無とその課題を聞きたい。

答 目的や教育上の配慮に十分留意するとともに、今後の県教育委員会等の動向も踏まえ、校長会との連携を図り慎重に検討したい。

子ども見守り隊活動の 現状と支援策の状況

問 上記について聞きたい。

答 市内全ての小学校区において結成されており、子ども見守り隊活動連絡協議会という全市的な組織もつくられている。協議会結成5周年を記念し、ベスト、帽子、横断の旗の備品等を寄贈したほか、活動の際に事故が起きた場合は、市民活動補償制度の対象として補償するなどしている。

市長の政治姿勢について

市民満足度調査の実施

問 いかに知恵を絞って有効だと考える諸施策や事業も、市民が幸せや満足を得られなければ、まさに税金の無駄使い。この際、体系的で簡潔にした形式の満足度調査を実施してはどうか。

答 市民の声を聞くため、直接意見交換するまちづくり市民懇談会を開催しているほか、市民意識調査、毎年のまちづくり市民アンケートなどを実施しており、市民の幅広い声を聞きながら行政運営に努めていきたい。

新年度予算編成と 財政構造の強化について

予算編成方針と 編成の進捗状況

問 25年度と26年度の予算編成方針はどこが違っているのか。また査定の時期は。

答 基本的な考え方は前年度と変わらないが、将来に向けた積極的な投資ではまちづくり特別枠を継続するとともに、別枠として地域の元気臨時交付金基金の特別枠を設け、26年度に行う公共事業の財源として活用する。

市長査定については、例年同様1月中旬以降に行う予定。

正確な歳入見積りと 適切な予算配分

問 国の税制に左右される地方消費税交付金の歳入見込みは。

答 現在の消費税5%のうち1%が地方消費税となっており、総額を県と市町村が折半し、各市町村に対しては人口と従業員数の割合によって配分される。24年度の決算額では約11億7,400万円。

消費税率が8%に改正されると、内訳は消費税が6.3%、地方消費税が1.7%だが、交付金が単純に1.7倍になる訳ではない。

減収補填措置の有無も現段階ではわかっていないが、地方財政対策の中では明らかになると思うので注視していきたい。